行政組織見直し検討に係るご意見（第１回委員会後、委員の皆様より）

意見１
総合センター廃止となれば、地域交流センターを見直して、その地域に合った交流センターを造ることが大切だと思う。
回答１
地域振興については総合センターの自治振興課及び本庁で行ってきておりました。総合センター縮小後は総合センターの機能を本庁に集約して地域担当職員を配置し、今までの業務を行っていくよう考えております。そういった体制で、今まで以上に各地域に合った、特色が生かされる交流センター、自主組織になるよう協力していきたいと考えております。

意見２
感想： 先ず、先日の会の印象ですが《解らないことだらけでチンプンカンプン》・・・ 中に入っていけませんでした。 この会では「総合センターの縮小、廃止について」「総合センターの縮小に係る代替措置について」を検討するということですが、先日の説明ではすでにすべてが決定事項であり、一応市民参加の検討会をしましたという形を示せれば良いのかなとも思いました。
回答２
第１回の委員会で説明させていただきました市の定員管理計画に基づいて平成３２年度までに４７４名まで削減をしていくことは決定しております。これに中期財政計画を踏まえて、「総合センターの縮小、廃止」、「総合センターの縮小に係る代替措置」について検討委員会の皆様にご検討いただきたいと考えております。

行政組織見直し検討に係るご意見（第１回委員会後、委員の皆様より）

意見３
総合センターの職員数を減らすということですが、全体で４０名程度で自治振興課の窓口業務、保健福祉課の保健福祉関係の一次的相談業務を充分に行えるのでしょうか？
回答３
・各種証明の発行、各種窓口手続き ・税、公共料金の収納 ・福祉サービスの受付、相談 ・保育所入退所受付 等の発行、受付の業務を基本に考えております。 すぐに４０名で業務を行うわけでなく、平成２７年度までに段階的に縮小し、業務を見直しながら市民の皆様にご不便をかけない体制を築いていくように考えております。

意見４
木次総合センター廃止に思うこと。 現在の木次総合センターの窓口業務をされている方の応対は、おおむね親切で、温かみを覚えるものです。一方、現在の市役所の雰囲気は冷たく、笑顔のない無機的な空気、目に見えない壁があるような気さえします。窓が開かれていない感じです。その雰囲気ゆえ、市役所に行くのを嫌う人は多いです。 市役所の窓口業務にも、外来者を迎え入れる笑顔と温かみが欲しいのですが、それがないとすれば、木次総合センターはそのまま残していただきたいと思います。
回答４
窓口の職員に限らず、お客様の応対については職員研修等により接遇の向上を図り、市民の皆様が気軽にいらしていただける雰囲気になるよう努めてまいります。

行政組織見直し検討に係るご意見（第１回委員会後、委員の皆様より）

意見５
総合センターは１４４名が４０名に減ったとして１００名の方はどこに行ってしまうのでしょうか？
回答５
市の定員管理計画では現在の５４９名から平成２７年度で５０７名（４２名減）、平成３２年度では４７４名（７５名減）を計画しています。 総合センターの縮小についても平成２５年度から段階的に行い、平成２７年度に完全移行としており、ご質問の１４４名－４０名＝１０４名の職員は２７年度の段階で１０４－42＝６２名になり、それらの職員については本庁機能の強化、地域担当の職員として本庁舎にて勤務するよう考えております。さらに段階的に削減を行い、最終的には平成３２年度にさらに３３名を削減する予定です。

意見６
これから市が取り組もうとされている事業の中に、不要と考えられるものは無いでしょうか？ 建物・工事など、多額の費用がかかるものについての計画など知りたいと思います。
回答６
今後、多額の費用を要する市の事業としましては、新庁舎建設（２，７１７百万円）、医療と保健の融合による健康づくり拠点整備（700～900 百万円）が計画されています。

行政組織見直し検討に係るご意見（第１回委員会後、委員の皆様より）

意見７
木次総合センターの廃止計画（案）について 　町づくりを市民と行政と議会の協働の町づくりを進めようとしている最中になぜ木次なのか。 　管理計画、再建計画、税収の減、人口の減と八方ふさがりの状況ではあるが？ 　地域住民、地域づくりの窓口なのになぜ無くすのか、木次町内で不満も聞くし、行政が議会と一緒になり政策を押し付けている。
回答７
木次総合センターで行ってきた業務は本庁舎内ですべて対応できるようになると考えております。 　ただ、新庁舎建設が計画されている中で、利便性等を考慮し、検討委員会、議会で検討して最終的に判断していくようになると考えております。

意見８
交通弱者、高齢化等のことを考慮し、総合センターに現在程度の組織（３課体制）は残すべきと考える。 　現行体制を継続すれば要員削減につながらないので次の提案をする。 ・本庁と近距離にある木次・三刀屋の総合センターを廃止し、本庁直轄とする。 ・加茂・大東総合センターを統合するとともに、掛合・吉田総合センターを統合し、２総合センターとする 　以上により、要員削減を図ることは十分可能と考える。 　また、事務所数減少（４総合センター減）により、事務所運営費用の大幅な削減を図ることができ、その面からも効果が期待できる。
回答８
総合センターの統合についても検討しましたが、総合センターまでの距離が大幅に遠くなる地域が新たに出てくる等（本庁のほうが近い）の問題から、資料「総合センターのあり方について」の考え方でお話しさせていただいております。

行政組織見直し検討に係るご意見（第１回委員会後、委員の皆様より）

意見９
資料Ｎｏ３について具体的に各総合センター人数配置及び市役所の地区担当、新部・課が出来るのか？（採用数）
回答９
各総合センターへは課長１人を含む７～８人を想定しております。 また地区担当職員については、新たに部又は課設置するものではなく、本庁の必要と思われる部局に地区担当職員を増員するものです。例えば災害等に対応するために総務部危機管理室に６人、除雪等に対応するために建設部業務管理課に６人というように配置する考えです。

意見 10
市政懇談会（木次会場）及び市全体の意見及び質問等の行政の考えは（思案）が変更できるのか？
回答 10
定員管理計画により職員の減は今の段階では決まっており、組織の見直しは避けられないと考えております。しかしながら見直しの具体的内容については、最終の決定とはなっておりませんので、様々な意見をいただき検討していきたいと考えております。

行政組織見直し検討に係るご意見（第１回委員会後、委員の皆様より）

意見 11
総合センター縮小化はやむを得ないと思います。職員の人数が減っても各地元の状況を熟知している人は必要です。 災害が発生した時や、断水、停電等トラブルが発生した時に地理的なことや家族構成を知っている職員さんにいてほしいと思います。 市民バスの各総合センター、本庁への運行をお願いしたいと思います。
回答 11
地理等を把握することは当然であり、総合センター縮小までのところで、混乱が起きないよう対応していきます。 また、市民バスについては、この委員会の意見また市政懇談会等の住民の意見を踏まえサービスの低下をきたさないように検討していきます。

行政組織見直し検討に係るご意見（第１回委員会後、委員の皆様より）

意見 12
次回の議題には新庁舎建設基本計画（案）についてがありますが、庁舎位置の決定はＨ２０年３月になされております。 その後、今年３月東日本大震災が起こり、あらゆる安全性の基準を変えて物事を判断する必要があると思います。津波はきませんが、液状化に対して大丈夫なのか？ 庁舎建設については、もう一方の検討委員会で討議されており、そちらにおまかせする件ですが、液状化とか大洪水といったような事を考慮して、もう少し高台の防災拠点となりうる広い場所は必要ないのか、おそらく議論されていると思いますので、そういうことを含めて説明をお願いします。
回答 12
新庁舎建設の位置につきましては、合併協議会の中で「新庁舎の建設が必要ではないか。」ということから、住民説明会での意見も踏まえ３候補地の絞込みが行われましたが、結論は合併後に持越しとなったところであります。 合併後の市議会「市庁舎建設調査特別委員会」で検討・協議が重ねられ、最終的に建設位置については「現在の雲南合同庁舎周辺地区」とすること、財政状況を見極めつつ、市民の理解が得られるよう慎重に検討すること、との委員長報告が平成２０年３月に行われたところであります。 この建設場所は、斐伊川の右岸で請川と案内川の合流部付近であり、昭和３９年災害や昭和４７年災害では、浸水被害に見舞われた地帯でありましたが、これらの災害を契機に、請川・案内川を含む河川改修が進められ、平成１８年７月豪雨では、昭和４７年以来の大洪水となりましたが、請川流域では大きな浸水被害はなく、改修による効果が発揮されたところであります。更には、尾原ダムによります治水効果も見込まれることから、水害の心配はないものと考えておりますが、想定以上の豪雨等による浸水の危険性につきましては、その対策でありますポンプ施設の整備につきまして、今後よりいっそう国、県当局との協議、また要望活動を行ってまいりたいと考えております。 また、液状化現象につきましては、地盤改良により液状化抵抗を増大させる対策や、基礎構造自体を強化する対策、またこれらを組合わせて行う対策等が考えられます。但し、これらには多種多様な工法があり、詳細な調査・検討が必要となるため、費用対効果も含め、専門家の意見も伺いながら今後基本設計の段階で検討したいと考えております。 なお、建設位置につきましては、今述べました経緯からして、雲南市全体として決定された大変重い決定事項であると認識しております。